



たとえ夜でも「お天道様が見ている」

教頭 藤本 哲也

人が意志を決めたり行動を起こしたりする、あるいは行動を思いとどまる要因は様々（下図参照）ですが、他者から強制・強要されるのではなく、自身の良心や内面から発生する好ましい衝動・欲求によるのが理想だと思います。

外発性高 →→→→→→→→		より好ましい動機づけ →→→→→→→→			内発性高
①外発的動機づけ	②取り入れ的動機づけ	③同一化的動機づけ	④統合的動機づけ	⑤内発的動機づけ	
教師の指導や強制による動機づけ ・成績が下がるのは嫌だからやる ・特別指導がヤバイからやらない	不安や恥による動機づけ ・恥をかきたくないからやらない ・バカにされるのが嫌だからやる	重要性や必要性による動機づけ ・将来のために必要だからやる ・自分にとって重要だからやる	価値観や信念との一致による動機づけ ・自分の価値観や堅く信じる考え方に一致しているからやる	興味や関心による動機づけ ・面白いからやる ・挑戦のしがいがあるからやる ・好きだからやる	

期末考査のための勉強や進路活動を例にとります。1・2年生は大半が①または②で、③は少数派でしょうか。3・4年生については、全員が③～⑤であってほしいのですが、どうでしょうか。

平成 29 年度も 3 か月が経ちました。残念なことですが、近年になく、1・2年生を中心に、自分の言動とそれが引き起こす悪影響に対する責任感・想像力が欠如している生徒が目立ちました。校則や法規を守る、あるいは学習に励むための動機として、①ですら効果を発揮していないのです。それどころか、「自分の価値観というのは、自分がやりたいことと同じである」ととらえ、社会では決して通用しない「自分勝手な基準でわがままいっぱいに行動している」生徒が少なくありません。「学ぶことが生きることである『学生』の「先を生きる『先生』として、心が痛みます。

私は子どもの頃、祖父母から「お天道様が見ている」「背筋を伸ばしなさい」と言われた記憶があります。お天道様とは、太陽そのものを敬い親しんで言うこともあれば、神や仏など全てを見通す超自然の存在を指す場合もあります。いずれにせよ、誰も人がいない場所、人が見ていない時でも、悪いことをしてはいけない気がして、愚直に生きてきたつもりです。

話を、①の動機づけも無意味な生徒に戻します。義務教育とは異なり、高校では生徒は自らの言動に責任を持つことが原則です。生徒を「罰するのではなく指導ができる」在学中に、「社会に受け入れられ、自己の自律性を高める」ための動機

を見いだしてほしいものです。そこで右の言葉を贈ります。太陽が出ていない夜でも、防犯カメラと「自分の良心というお天道様」が見守ってくれているという感覚だけは持っていてください。

誰かが見ているという意識を根拠にして、だからやらないんだという振舞いは、私はちゃんと残しておいていい人間の姿だと思う。
(村上陽一郎 著 『やりなおし教養講座』より)

■ 68 回生修学旅行

6月14日(水)～16日(金)、68回生修学旅行を実施しました。奄美大島で観光やマリンスポーツを楽しみました。たくさんの思い出をつくることができました。



■ 授業参観・保護者会・就職説明会

6月9日(金)、授業参観・保護者会・就職説明会を実施しました。例年以上に多くの保護者の方に授業中の生徒の様子を見ていただくことができました。お寄せいただいたご意見、ご感想を今後の教育活動に生かしていきます。



■ 防災避難訓練

6月20日(火)、防災避難訓練を実施しました。校内での火災発生を想定しての避難訓練の後、加古川市消防本部東消防署の方々による防災講話と意識喪失者の運搬法の実演指導がありました。



■ 部活動の主な結果

兵庫県高等学校定時制通信制課程総合体育大会

卓球部 (6月10日 於：尼崎市立琴ノ浦高校)

女子個人の部

第3位 【全国大会出場】

バドミントン部 (6月10日 於：神戸市立摩耶兵庫高校)

男子シングルス

第5位 【全国大会出場】

女子シングルス

第3位 【全国大会出場】

第4位 【全国大会出場】

ソフトテニス部 (6月18日 於：明石公園テニスコート)

女子個人の部

第3位 【全国大会出場】

サッカー部 (於：三木防災公園など)

6月10日 2回戦 県農 1-1 (PK4-2) 楠高校

6月17日 準決勝 県農 2-3 神崎工業高校 第3位